

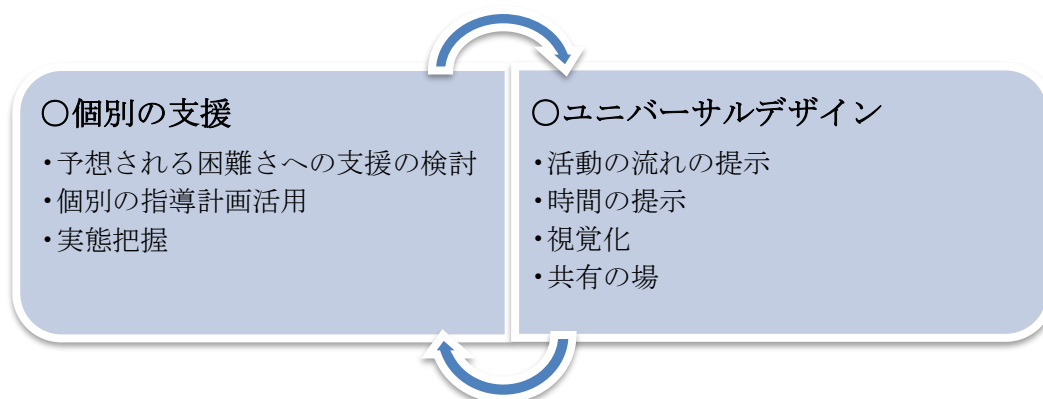
① 実態把握10項目

| 生活・行動面 | 情緒・社会面 | 学習面 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・注意力 (忘れ物、うっかりミス、整頓が苦手など) ・衝動性 (攻撃的、静かにすることができない、けんかっ早いなど) ・運動 (体育が苦手、運動がぎこちないなど) ・感覚 (音や触覚が敏感や鈍感など) | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション (言葉の遅れ、心の読み取りが苦手など) ・情緒 (感情のコントロールが苦手、自信がないなど) ・こだわり (変化への対応が苦手など) ・社会性 (挨拶をしない、ルールが守れないなど) ・対人(友人)関係 (孤立、共感が乏しい、集団が苦手など) | <ul style="list-style-type: none"> ・学力 (1～2年の学習の遅れ、聞くことが苦手、話すことが苦手、読むことが苦手、書字が苦手、計算が苦手など) |

② 個別の指導計画作成例

| 現状と課題 | 対応・支援・配慮等(支援者) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 指示を受けたあとに、課題に取り組むことが難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 課題を終える時刻を示す。 ■ 課題の程度に幅をもたせて用意する。 ■ 課題の見通しをもてるようにメニューを提示し、一つ終わるごとにメニューを消していく。 ■ 気が散る要素がないか確認する。 ■ わからないときの手順を教える。 |

③ 教員が共通して行った個別の支援とユニバーサルデザインを意識した授業づくり



④ 安佐中スタンダード

安佐中スタンダード

つ つたえよう、自分の考え
な 仲間の意見を尊重しよう
ぐ グッドな声かけ、良い反応

①自分の考えをつくり、表明しよう。

②仲間の発言の時は、発言者の方を向いて聴こう。

「聞く」・・・耳に入ってくる声や音を「聞く」。

「聴く」・・・相手の言いたいことや感じていることを、
耳を傾け心を込めて聴く。

「訊く」・・・知りたいことや尋ねたいことを「訊く」。

「ねえ、ここどうするの」「わからないから教えて」

③わからないところは「わからない」と言おう。訊かれた
ほうは誠実に答えよう。



認め支え合う学級・授業をみんなで作っていこう